

本市の上水道事業は、昭和27年2月に創設し、昭和29年8月に給水を開始したことに始まり、昭和32年3月に新島地



（執筆）
佐原市水道部
浄水班長 香取 健一氏

「佐原市水道事業について」

河口堰だより

地域を守る潮止堰
エニザーの声

発行所
独立行政法人水資源機構
利根川河口堰管理所
TEL 0478-86-0477

区簡易水道事業、昭和35年3月に北佐原地区簡易水道事業が、それぞれ完成しました。この2つの簡易水道は、昭和37年4月に統合して、佐原市北部上水道事業になりました。昭和43年には、東大戸地区を主に給水区域として西部地区簡易水道事業が創設されました。佐原市上水道事業は、水需要の増加に対処するため、昭和47年に第1次拡張事業を起し、佐原浄水場を拡張、更に昭和51年に第2次拡張事業に着手して、水郷大橋への配水管の追加、横利根川水管橋の設置により北部上水道事業を統合しました。昭和56年には給水区

域の拡張（津宮・大倉・島羽・与倉方面）水需要の増加に対応するための浄水場の新設、水源（両総用水導水路）水質悪化への対応のために取水位置（利根川）の変更、経営の合理化のための西部地区簡易水道事業の統合を目的とする第3次拡張事業に着手し、現在に至っています。

進捗状況として、昭和63年に西部簡易水道事業の統合を行い、飯島取水場及び玉造浄水場を完成させ通水しています。また平成3年度から佐原浄水場の浄水施設の更新及び遠方監視制御装置の整備を行い、平成9年度から玉造浄水場における管理の一元化を図っています。活性炭注入設備については、平成8年度よりトリハロメタンの抑制及び異臭対策として飯島取水場に

○飯島取水場について
河口から5.5km+107m上流、利根川右岸にある飯島取水場は、昭和63年より通水を開始しています。平成6年度には利根川下流河川事務所により取水口全面に於いた河川敷を取り除き川幅を広げるため、浚渫を行いました。その後平成11年以降、水道部にて毎年業者による掘削及び残土撤去をしている状況にあります。しかし現在取水口より約25×50m沖まで堆積しているため、処置に苦慮している状況であります。佐原市給水人口30,011人の水道水を安定して供給出来るよう努力しておりますが、一事業体による毎年の掘削作業の経費は多大であるため、良い方法があればと思っております。



飯島取水場内の急速ろ過池



飯島取水場全景

水資源機構利根川河口堰管理所の職員の皆様には、水位低下の時の潮の状況及びゲートの開閉状況など情報を頂き、大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひ致します。

生物図鑑

女の世界へようこそ。
メスばかりのギンブナ
ナの不思議な生態。

ギンブナは日本の川に、例外なく住んでいる魚の代表です。体はゲンゴロウブナ（ヘラブナ）より少しほっそりとしています。春の大雨の後などに浅瀬や水田、用水路などの水草やヨシの茎、ゴミ



ギンブナ
（平成14年5月撮影）

などに産み付けられた、1.5mmくらいのギンブナの卵に出会えます。

意外に知られていませんが、ギンブナはそのほとんどがメスです。不思議なことに、他の魚のオス（主にはキンブナやウグイなど）の精子により、卵からはメスのギンブナと同じ子供が生まれます。このことを雌性生殖といいますが、普通の魚の場合、卵に精子が入り受精した後、卵の発生が進みますが、ギンブナの場合、他の魚の精子は卵が発生する「きっかけ」になるだけで、卵は受精することなく発生を始めるそうです。通常産卵期は4月から6月で、岸よりの植物や水草に卵を産み付けます。このように、魚の中にはメスだけで子孫を残すものもいます。

ギンブナは利根川の他に霞ヶ浦でも多く見られます。かなりの数を調べ

河口堰の四季

東庄町のイチゴ街道

当管理所の地元である東庄町は、県内屈指の「ある果物」の産地として有名です。さて、何でしょう？ ショートケーキには欠かせない甘くて赤い粒の果物と言え、そう、「イチゴ」です。

町内を通る国道356号線は別名「イチゴ街道」とも呼ばれ、沿線には多くのイチゴ園やその直売所があり、おいしいイチゴを求めてお客さんが訪れています。今年も1月初旬からイチゴ狩りが始まり、例年5月中旬頃まで行われています。皆さん

も甘いイチゴを味わいに一度足を運んでみませんか？



東庄町国道沿いの看板



直売所に並ぶ新鮮なイチゴ

編集後記

平成17年4月より利根川河口堰管理所は霞ヶ浦開発総合管理所と統合されました。平成15年の10月に公団から機構となり、今度は統合化という具合に、業務の効率化とコスト削減の名の下に、組織が大きく変わりました。この統合化がユーザーの皆さんにとって有意義なものとなるよう更なる努力をしていきたいと思っております。

（編集担当者）

この広報誌に関するご意見・ご感想、並びに利根川河口堰へのご質問等は下記までお寄せ下さい。また、施設見学も受け付けています。広報担当、総務グループ 松本（まつもと）、井藤（いふじ）までご連絡ください。
〒289-0611
千葉県香取郡東庄町新宿2276番地
水資源機構 利根川河口堰管理所
TEL 0478-86-0477
FAX 0478-86-3457
E-mail: tonekako@topaz.ocn.ne.jp

利根川下流沿川紀行

霞ヶ浦

○帆曳船
出島村(現霞ヶ浦町)の住人で折本良平という人が、当時霞ヶ浦で盛んに行われていたワカサギ漁を見ていました。漁師が何人も掛かって網を曳いて漁をしているのを見て、帆を利用して網を曳けないかと試行錯誤を繰り返して、帆曳船を考案、

実現化しました。帆曳船は今では霞ヶ浦の風物詩となりました。

○佃煮

昔、麻生町の出身で奥村謙蔵という人が江戸に出ていた時に、近くの隅田川や佃島の辺りで故郷の霞ヶ浦と同じようにハゼが川岸にたくさん捨てられ悪臭を放っていることに気がつきました。これを食料にならないかと佃島に掘立小屋を建て、煮付けや味付けに懸命な努力を繰り返して、保存食とする手法を得たのち故郷の麻生に戻りました。その後本格的に創業を開始し、江戸に出荷するようになりました。そしてこの保存食は、「佃煮」と名付けられました。

○大杉神社(あんば様)

大杉神社は現在の桜川村にあります。関東平野が大きな海であった頃の付近は半島状に突き出ており、阿波島と呼び突端に大きな杉の木がそびえ、航路標識となっていました。神護景雲元年、勝通上人は日光二荒山神社を開基するため旅の途

中でありました。この地方に疫病が猛威を振るっていた、これを治めるため上人が大杉の下でお祈りをしたところ、三輪の守護神が大枝にいらっしやう、疫病を退散させたということです。



(利根川愛好会会長 林 敏夫)

「悪魔払い」、「交通安全」の守護神として人々の信仰を集め、杉の神の化身ともいわれている天狗面も有名です。



現在大造管中の大杉神社

短信・河口堰

霞ヶ浦開発総合管理所との総合管理所化について

平成15年10月の独立行政法人水資源機構の発足にあたり、その後速やかに、組織・業務等全般についての改革を行うとして、「現場事務所の役割強化と効率化」を図るとし、施設管理を一層的かつ効率的に行う体制を整備する観点から、平成17年4月1日付けで利根川河口堰管理所と茨城県稲敷郡東町にあります霞ヶ浦開発総合管理所とが総合管理所化することとなります。

総合管理所の名称は、「利根川下流総合管理所」となる予定です。これは両管理所が共に利根川下流域に位置することから流域管理を念頭に置いて決められたものです。総合管理所化されますと、霞ヶ浦開発総合管理所が総合管理所となり、

事務業務の一元化が図られ、人事や契約その他の事務的業務は全て総合管理所で実施されることとなり、事務職員の合理化が図られることとなります。

利根川河口堰管理所としては、現在の定員15名が2名削減され、13名となります。

利根川河口堰の体制は、職員2名が東町の総合管理所に勤務し、総合管理所の技術職の副所長が常駐することとなり、所長以外の技術職員は残ることとなりますので、技術に關しての体制は現在の11名体制(実員)を維持することとなります。

今後とも技術的な相談、またはご意見等については、利根川河口堰管理所で引き続きお伺い致しますので、何卒宜しくお願い致します。

イベント案内

○情報交換会

利根川河口堰管理所では、平成14年度から、水道事業体(利根川下流水源対策協議会)の皆様及び千葉県との情報交換会を開催し、利根川下流部の課題等について自由に意見交換、情報交換(2回/年)を行っています。

これまでに、利根川河口堰の操作運用による取水への影響、塩分濃度問題及び黒部川貯水池の水質保全対策等について、意見交換を行ってきました。今年度は、平成16年7月28日(水)及び平成17年1月18日(火)の計2回、情報交換会を開催され、主に黒部川の水質保全対策について、活発な意見交換が行われました。

○お花見情報

もうすぐお花見の季節がやってきます。利根川河口堰管理所内の桜は今年もきれいな花を咲かせてくれるものと思います。3月下旬からはポンボリを利用したライトアップなども行いますので、皆様お気軽にお立ち寄り下さい。



管理所内の桜の様子(昨年)

利根川河口堰の紹介

制水門

河口堰にある9門の水門のうち7門が制水門というシングルゲートです。制水門から水を流す時は順流時であり、水門の下から水を流します。これを逆流と言います。淡水に比べ海水の方が比重が重いことを利用して、主に塩分の濃い水を流すことにより、塩素イオン濃度を調節します。



河口堰制水門

調節門

河口堰にある9門の水門のうち2門が調節門というダブルゲートです。調節門から水を流す時は順流時・逆流時ともにあり、水門の上から水を流します。これを越流と言います。調節門を利用する時は比較的塩素イオン濃度が低い時です。越流させることにより魚類の遡上・降下を助けます。



河口堰調節門

利根川大橋全面通行止めに協力頂きありがとうございます。ありがとうございました。

平成16年11月26日及び平成17年1月25日の二度に渡り、利根川大橋全面通行止めを伴う9号調節門整備を行わせて頂き、関係機関、地元の方々との多大なご協力により、無事に作業を終了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。



ドラムギア搬入作業 平成17年1月25日